

令和 6 年 8 月 3 日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
 会長 荒船丈一 様

施設名 高齢者ケアセンターのぞみ
 氏 名 宮崎裕太

研 修 会 報 告 書

研修会名	相談関係職員研修会			
日 時	令和6年7月18日(木)			
会 場	ZOOMを利用したオンライン研修会			
発 表 者	大宮ナーシングピア・大野京子、ファインハイム・藤本武史			
参加人数・定員	参加人数	22 名	募集定員	30 名
研修リーダー 研修メンバー (施設名)	研修リーダー:なでしこ・浅賀、サブリーダー: はなぶさ・水越、あげお愛友の里・宮河 高齢者ケアセンターゆらぎ・中台、あすかHOUSE松伏・永井 高齢者ケアセンターのぞみ・宮崎			
研修会のテーマ	『介護報酬改定を受けての意見交換会』 ～今回の報酬改定における私の受け止め方と実際の取り組み～			
研修会の評価	アンケート回答数 (WEBアンケート実施)	17 名	3. グループワーク (ブレイクアウトセッション)	4.5
	1. 研修内容と目的の一致	4.2	4. 研修会の進め方	4.4
	2. 発表に対する評価	① 4.4 / 5	～総合評価点～	5
				4.3
			5	
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修リーダー・メンバーとしての感想等を記述)			
	<p>昨年度のオンライン研修会に続き、感染症が流行しても開催できるよう当初からオンラインでの研修会開催を企画しました。今年度はオンラインで1回、対面方式で1回の研修を予定しており、相談職は職場内でも人数が少ないところが多く、情報交換や相談など関係づくりの場としてこの研修会が果たす役割は大きいと思われます。今回の研修会も参加された皆さんの協力のもとで無事に終えることができ良かったです。</p> <p>研修内容については今年度の介護報酬改定をテーマに講師の方の発表を聞いたうえでブレイクアウトセッションを実施。各施設の加算算定への取り組みを話し合ってもらいました。加算算定の為に相談職の業務量が増加したという意見、加算を算定したいが、相談職が足りないという意見があり、老健施設における相談職の重要性を改めて感じました。報酬改定以外でも退所援助について質問が出たり、発行書類についての確認、ターミナルケアの取り組み等の話題が挙がり、他施設相談員との交流で情報や知識を得たり、悩みを解消する方が見受けられました。話題が尽きることなく、ブレイクアウトセッションの時間が足りない様子でした。研修に参加された方々はZOOMの操作が慣れている、もしくは当日のアナウンスがわかりやすかったのか、スムーズに進行できました。前回はブレイクアウトセッションのグループ分けの負担が大きかったですが、今回は個人操作でグループ分け対応を行うことでホストの負担を軽減することができました。ツールの機能を上手く活用することで運営側はスムーズに研修を進行できることが分かりました。今後の課題としては参加者が同様にツール機能を使用できるか分からないので、事前に操作資料を作成する等の準備をどのように行えば、混乱せずに研修に参加できるか考える必要があると思います。</p> <p>次回以降は実際に会場で開催し、以前のような横のつながりを築いていけるような研修会の開催を目指しています。開催にあたり、ご協力いただきました皆さまに改めて感謝申し上げます、ありがとうございました。</p>			

*アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。